

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
社会	地理的分野	日本文教出版

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校や他分野との接続や関連について、連携コーナーが設けられ、わかりやすいようによく配慮されている。 ・ 単元終末の「学習のまとめ」では、単元で学習した内容について、知識の習得を図った用語の整理と、地域の特徴を自分の言葉でまとめる活動を位置付け、学習内容を活用し表現する力を養う言語活動が適切に扱われている。 ・ 地理の学習に必要な技能について、系統立てて習得ができるように、「スキル UP」のコーナーが設けられている。 ・ 単位時間においては、導入資料、学習を見通す学習課題、本文・資料による追究、学習の振り返りで構造化され、学習内容の確実な定着および、主体的な取り組みが促されるよう工夫されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の話題に関する地理的トピックスなどが盛り込まれ、興味関心を喚起するための工夫がよくなされている。 ・ 各州や各地域の地形や気候、歴史や人口、産業や文化など大まかにつかむページと、州や地方におけるテーマや視点をもとに、地域の特徴を追究していくページを設け、州や地方の地域の特徴を確実に捉えることができるように十分配慮されている。 ・ 家庭学習などで主体的に学習内容の理解を深めていくことができるように、コラムや「自由研究」などの特設ページを設け、日本や世界の今日的な課題が適切に扱われている。 ・ 調査・追究の方法として、インターネットや映像資料を用いる方法が扱われている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとに「地域からのメッセージ」コーナーが設けられ、環境問題や環境保全、災害・防災に関する題材など、今日的課題に対応した題材が適切に扱われている。中部地方の学習では、社会的事象または資料として「輪中」「白川郷」が扱われている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図版等の印刷が、カラーユニバーサルデザインに配慮した優しい色使いで、誰にでも見やすいよう配慮されている。 ・ 本文と資料で書体が分けられていたり、ルビがゴシック体で示されていたりするなど、読み取りやすいよう配慮されている。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な内容の習得と思考力・判断力・表現力を高める学習を通して、主体的に学ぶ力が育まれるよう、単元の配列並びに一単位時間の学習の流れがよく工夫されている。 ・ 地域の事象を取り上げるなど興味・関心を高め、身に付けた知識や技能を活用して学習内容を広げたり、言語活動や社会に主体的に関わる態度を養ったりするなどの公民的資質の基礎を養うことができるよう工夫されている。